

パラソル級の多点掛け連発 北茨城のヤリイカがすごい!!

▼型がいいから乗りを見逃すことはまずない

★大型主体に4~5点掛けは当たり前釣れっぶりだ



▲落ち着いて1杯ずつ取り込んでいこう

▲このサイズを多点掛けすると釣り味も最高

▲ほかのエリアがバツとしないだけに頑張してほしい
◀これから初夏まで北茨城を代表する釣りになるはず
▶シーズンは始まったばかりだから大きくても肉厚
▼全長で60センチ近い大型もいる



▶慣れない人でも20~30杯は釣れる

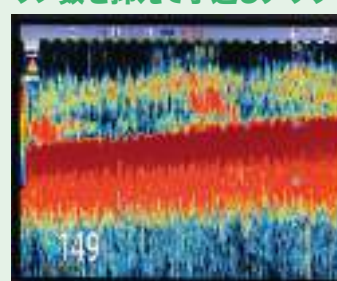


▲最盛期には日立沖あたりまで群れが南下してくるという
▶北茨城でも赤白スツテは効果あり



▶大型は胴長45センチ前後

ツノ数を抑えて手返しアップ



◀海底から10メートル辺りまで反応が幅広く出ている

▶オモリは150号、ツノ数は5~7本くらいがベスト



北茨城のヤリイカはポイントを大流して狙っていく外房勝浦のようなスタイル。ピンポイントの反応を狙って1投多釣を狙う感じではないし、サバも多くオマトリも多発するのでツノ数を抑えて手返しよく釣っていったほうがかえて数はのびる。

なお、オモリは今のところ150号だが、水深が浅くなれば120号、100号と軽くなっていく。また釣れるヤリイカは大型主体で身切れによるバラシもあるからダブルカンナのツノを使うのもありだ。

北茨城のヤリイカがすごいことになっている。今シーズンは2月に入ってから釣れ始めたが、胴長40~50センチ級のパラソルサイズを主体に多点掛けを連発、トップで50~60杯ほど釣れている。
ポイントが平潟港からの出船で航程約2時間と遠いが、シーズンが進むにつれて釣り場は南下、最盛期には港から20分ほどの近場で釣れるようになる。水深も今のところ150~160メートル前後だが、100メートル、70メートルと徐々に浅くなっていくという。
昨年は6月まで釣れ続いたそうので、今年も同様のロングランに期待したい。(詳細は44ページ参照)



●茨城県平潟港・第15隆栄丸 鈴木和次船長



▲今はまだ釣り場まで遠いが今後は徐々に近場で釣れるようになる